

公の施設の経費負担に関する検討状況について

1 報告の概要

公の施設の経費負担のあり方の検討にあたっては、市としての基準が必要であり、本基準の策定に向けて、施設の利用状況や満足度、経費負担のあり方などについて、市民意見等を聴取した上で、検討を進めている。

今回は、オープンハウス、ワークショップの結果を報告するとともに、議会や有識者から頂いたご意見等を踏まえ、一部スケジュールを見直したことから、その内容を報告する。

2 オープンハウスの結果

(1) 実施期間 令和6年12月11日(水)～21日(土)

(2) 実施場所 市内各区 10か所 (平日・土日 各1回)

・西区	西部文化センター	・桜区	プラザウエスト
・北区	プラザノース	・浦和区	中央図書館
・大宮区	大宮図書館	・南区	サウスピア
・見沼区	春野図書館	・緑区	プラザイースト
・中央区	与野南図書館	・岩槻区	ワッツ西館

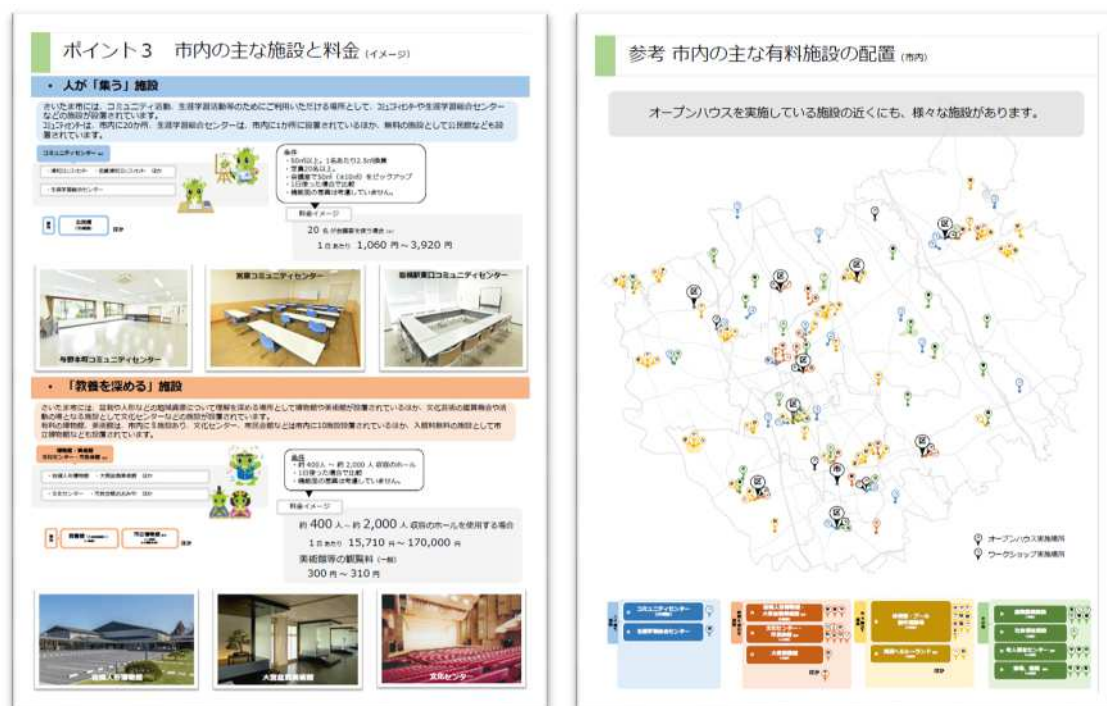
(3) 実施概要

- パネル展示等により、公共施設を取り巻く状況や市民アンケートの結果、料金設定の状況を説明
- 職員からパネルの内容について説明したのち、料金の差の要因について、アンケートを実施

参考 主な展示パネル



参考 主な展示パネル（つづき）



(4) 実施結果

○意見聴取件数 256 件

○料金の差の要因についての“主な意見”

- ・ 公共が担う必要性に応じて、料金差を設けるべきではないか。
- ・ 生活に必須であるかの視点で、料金差を設けるべきではないか。
- ・ 民間施設との代替可能性の有無により、料金差が生じるのではないか。
- ・ 余暇的目的や利用者が限られる施設は、利用者の負担を大きくしても良いのではないか。
- ・ 設置目的により料金差が生じるのは普通と感じる。
- ・ 公共施設を利用する場合に、利用の目的が同じであれば、他の同種施設と同一料金が望ましい。
- ・ 高齢者や子ども、障害のある方への配慮も必要ではないか。
- ・ 公共施設を利用する場合に、利用する団体の性格の違いにより、料金差があっても良いのではないか。
- ・ 公共施設の料金は、民間施設よりも安価な価格設定が望ましい。
- ・ 設備の充実度の違いにより、料金差があっても良いのではないか。

3 ワークショップの結果

- (1) 実施日 令和6年12月22日(日)
- (2) 実施場所 浦和コミュニティセンター
- (3) 実施結果

○参加者 28名(午前15名・午後13名)

○グループワークの内容

「利用施設について普段感じていること」

「どのような料金の“差”であれば、納得できるか」

○グループワークの“主な意見”

- ・施設の料金が安価であることは、良いと感じている。
- ・施設の料金差が生じることは、理由次第で納得ができる。
- ・人気の高い施設であれば、利用料金が上がったとしても、利用率に大きく影響しないのではないかと。また、本事由により生じる料金差は、納得しやすいのではないかと。
- ・施設の利用方法や経費負担の状況などについて、市から積極的に情報発信(PR)することが、課題ではないかと感じている。

4 今後のスケジュール

議会や有識者から頂いたご意見等を踏まえ、“より丁寧に検討を進めること”を目的として、令和6年9月にご報告したスケジュールに「施設管理者や利用者へのアンケート」、「骨子案作成及び作成後の市民意見聴取」を追加した。

なお、骨子案作成後の市民意見聴取までに、当該概要について、議会へ報告することを予定している。

参考 スケジュール(変更案)

